

平成29年度 あいの風とやま鉄道 利用状況等

平成30年6月14日
あいの風とやま鉄道(株)

平成29年度(通年営業3年目)の、あいの風とやま鉄道の利用者数は全体で約1,483万人(前年比10.9万人、0.7%増)、1日当たりでは40,636人(前年比298人、0.7%増)となった。

これは、通年営業ベースでは利用者数、1日当たり利用者数のいずれにおいても過去最高となりました。

1 1日当たり利用者数

平成29年度の1日当たりの利用者数40,636人は前年度を298人上回っているほか、年度事業計画の40,300人と比べると336人の増加となっています。

利用者の区分別にみると、定期が29,823人、うち通勤が13,995人、通学が15,828人となっており、利用者全体の70%以上を占めています。定期外利用者は10,813人となっています。

利用者区分別の前年比の増減をみると、定期は全体で267人、0.9%の増となっていますが、内訳では通勤が△1.0%の減、通学が2.7%の増となっています。

定期外については全体で0.3%の増加となっていますが、通常乗車券は△9.7%減少する一方で、ICカード利用者が54.2%の大幅な増加となっています。

この結果については、利用実態に即したダイヤ編成や利便性の向上等により、前年度以上の利用者数を確保できたものと考えています。

表1 1日当たり利用者数等

区分	H29	H28	差引	増減比 %
利用者数 (千人)	14,832	14,723	109	0.7
1日当たり (人/日)	40,636	40,338	298	0.7
定期利用者	29,823	29,556	267	0.9
通勤	13,995	14,141	▲146	▲1.0
通学	15,828	15,415	413	2.7
定期外利用者	10,813	10,782	31	0.3
乗車券	8,211	9,095	▲884	▲9.7
ICカード	2,602	1,688	914	54.2

2 駅別乗車人員、駅間通過人員等

駅別乗車人員数は、富山駅が12,000人、高岡駅が6,544人などとなっています。

また、駅間の通過人員数は、富山駅・呉羽駅間が最も多く16,264人となっているほか、東富山・高岡駅間で1万人以上となっています。

昨年度と比較すると、乗車人員では、富山駅、高岡駅で通学定期が増加しています。これは駅近隣に開校された専門学校への通学者が増えたこと等によるものと考えられます。

駅間通過人員数では、高岡から東側のエリアで増加が大きくなっていますが、平成29年3月のダイヤ改正で、このエリアにおいて通勤・通学時間帯の列車の増便等を行ったためであると考えられます。

表2 駅別乗車人員数と駅間通過人員数(1日あたり)

(単位:人/日)

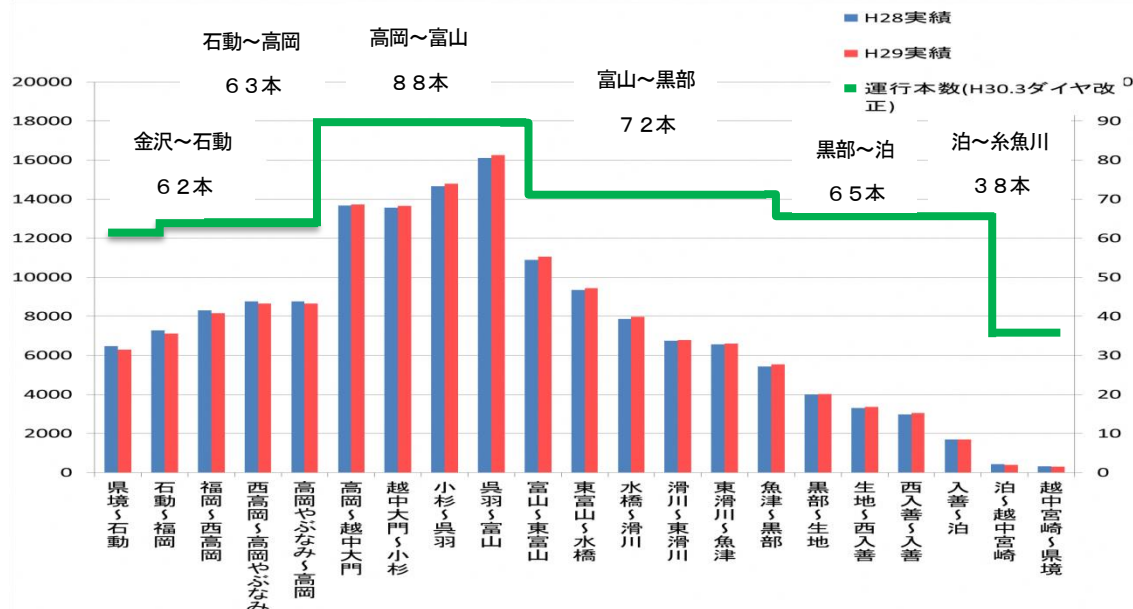
	乗車人員			通過人員		
	H29	H28	増減	H29	H28	増減
県境以西	3,154	3,164	△10	6,298	6,487	△ 189
石動	1,527	1,682	△155			
福岡	1,011	1,022	△11	7,116	7,294	△ 178
西高岡	617	589	28	8,156	8,315	△ 159
高岡やぶなみ	7	0	7	8,657	8,765	△ 108
高岡	6,544	6,457	87	8,664	8,765	△ 101
越中大門	964	911	53	13,739	13,673	66
小杉	3,188	3,110	78	13,661	13,560	101
呉羽	1,681	1,703	△22	14,790	14,670	120
富山	12,000	11,864	136	16,264	16,110	154
東富山	1,394	1,371	23	11,054	10,898	156
水橋	1,013	972	41	9,449	9,363	86
滑川	1,426	1,403	23	7,973	7,880	93
東滑川	155	151	4	6,784	6,751	33
魚津	2,058	2,098	△40	6,607	6,563	44
黒部	1,360	1,305	55	5,552	5,432	120
生地	463	482	△19	4,031	4,005	26
西入善	221	232	△11	3,357	3,308	49
入善	895	867	28	3,055	2,985	70
泊	745	727	18	1,698	1,696	2
越中宮崎	51	68	△17	393	430	△ 37
県境以東	164	161	3	305	320	△ 15
合計/平均	40,636	40,338	298	7,540	7,521	19

※ 高岡やぶなみ駅の H29 の1日あたり乗車人員は、開業日(H30.3.17)から年度末までの 15 日間の乗車人員を 365 日で除したのもの

図1 駅間通過人員数(1日あたり)と列車運行本数

(人)

(本)

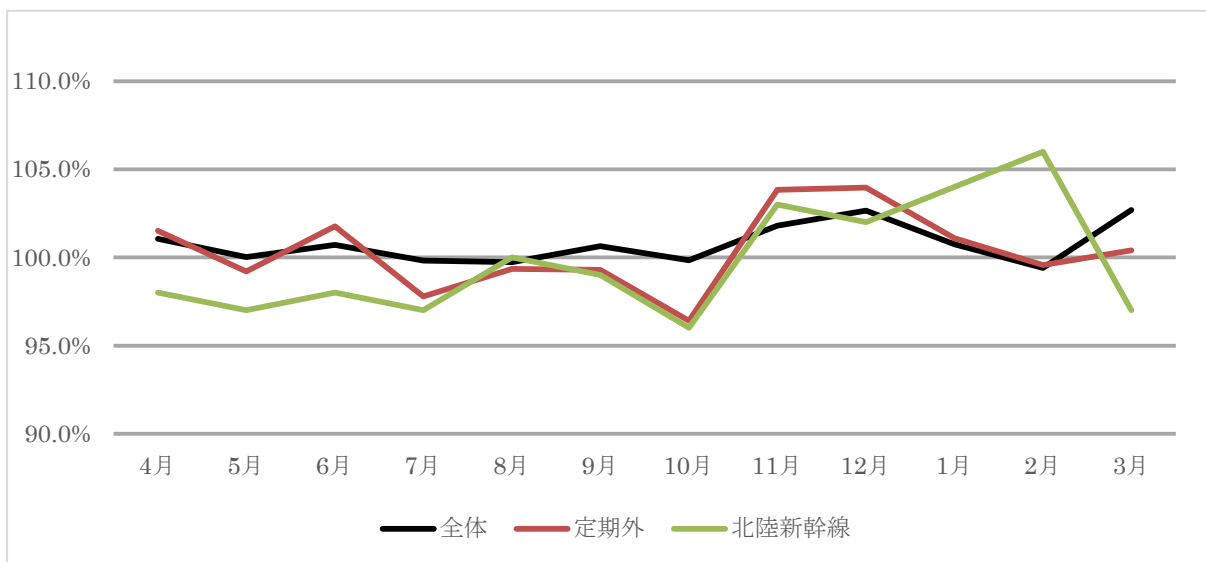


3 輸送人員の増減率

前年度との輸送人員の増減率をみると、年度前半は主に通学定期が増加する一方、通勤定期が減少しましたが、後半に向けて通勤定期も増加傾向となってきたため、全体としては昨年度を0.7%上回っています。

また、定期外利用者については、12月までは北陸新幹線利用者の増減率とほぼ同じ傾向を示していましたが、雪が多かった1月、2月には特急からの転移を含め新幹線利用者が大きく増加する一方、当社線は前年度並みとなっています。

図2 1日当たり輸送人員数の比較(H29/H28)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	101.1%	100.0%	100.7%	99.8%	99.7%	100.6%	99.8%	101.8%	102.7%	100.8%	99.4%	102.7%
定期外	101.5%	99.2%	101.8%	97.8%	99.3%	99.3%	96.4%	103.8%	104.0%	101.1%	99.6%	100.4%
北陸新幹線	98%	97%	98%	97%	100%	99%	96%	103%	102%	104%	106%	97%

4 運賃収益

平成29年度の運賃収益額は2,921百万円で、前年度とほぼ同額でした。

利用者数が増加しているのに対し、運賃収益が増加していない理由としては、利用者単価の低い通学定期利用者の増加が大きかったことによりますが、平成29年度事業計画の2,880百万円は上回る結果となっています。

表3 H29運賃収益額等

(単位:千円)

区分		H29	H28	差引	比率 %	
旅客運輸収入(税抜)	定期	通勤	842,464	854,351	△11,887	△1.4
		通学	453,671	439,927	13,743	3.1
		計	1,296,135	1,294,278	1,856	0.1
	定期外	乗車券類	1,265,703	1,412,167	△146,463	△10.4
		ICカード	358,939	214,332	144,606	67.5
		計	1,624,642	1,626,499	△1,857	△0.1
	計		2,920,776	2,920,777	△1	0.0
	マルス手数料		49,586	46,032	3,554	7.7
			2,970,363	2,966,809	3,554	0.1